

地域計画策定に向けて地区懇談会 将来像の具体化を目指す

川崎町では令和6年8月から9月にかけて、地域計画策定に向けた地区懇談会を開催。農業委員と農地利用最適化推進委員が話し合いを調整しながら、参加者の声を拾い上げた。

多くの地区では、若い担い手がおらず、出席者は高齢者のみだった。「10年後の地区の将来像」づくりでは「将来にわたって農地を維持できるか不安。次世代の担い手が乏しい。まず担い手を育てることが先決」といった意見が多かった。

委員からは、来年4月から始まる農用地利用集積等促進計画について「地域の農業者は手続きに関する具体的なイメージが湧かず、理解できていないのではないか」との意見もあった。

町の地域計画担当者は「懇談会で決まった素案をもとに、計画策定が進んでいる。今後も更新のたびに同じ意見や課題が浮上する可能性が高い。地域の農業が安定するまで計画策定に終わりはない」と話す。

【記事提供】 川崎町農業委員会

支倉地区懇談会の様子



前川地区懇談会の様子



町・小野地区懇談会の様子

